

令和3年度

決算・業務実績の概要

地方独立行政法人山口県立病院機構



## 目 次

1. 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について .....	1
2. こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について .....	5
3. 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について .....	9
4. 令和3年度収支実績の前年度対比 .....	13
5. 令和3年度収支計画と収支実績の対比 .....	15
6. 目的積立金の計上について.....	17
7. 令和3年度業務実績及び第3期中期目標見込み評価.....	19

## 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

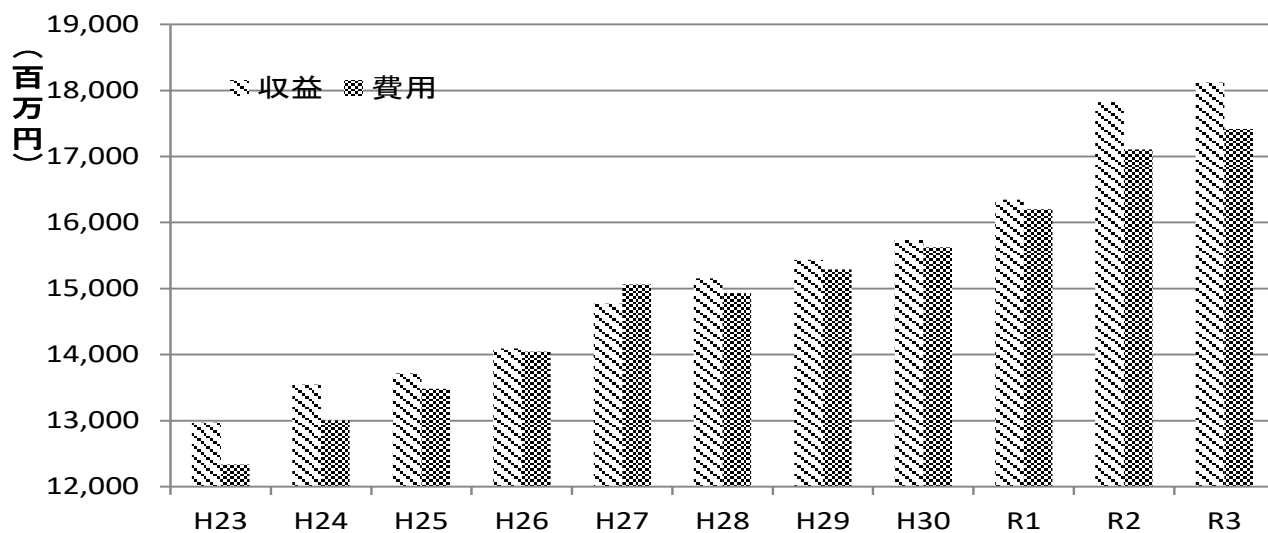
### 1 令和3年度決算の概況（本部費配賦額込）

決算規模	[収益] 181億2,100万円（対前年度比+1.7% +2億9,900万円） [費用] 174億1,800万円（対前年度比+1.8% +3億1,100万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の減等により減少 ○ 補助金は、新型コロナ患者受入体制の増強に伴い増加
費用の状況	○ 医業費用は、給与費や減価償却費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、建設改良費の減により減少
経常利益	○ 7億4,500万円の黒字（4年連続）
純利益	○ 7億300万円の黒字（6年連続）

### 2 決算規模・決算収支

- 決算規模は、収益181億2,100万円、費用174億1,800万円となり、収益費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
- 経常利益は4年連続の黒字、純利益は6年連続の黒字

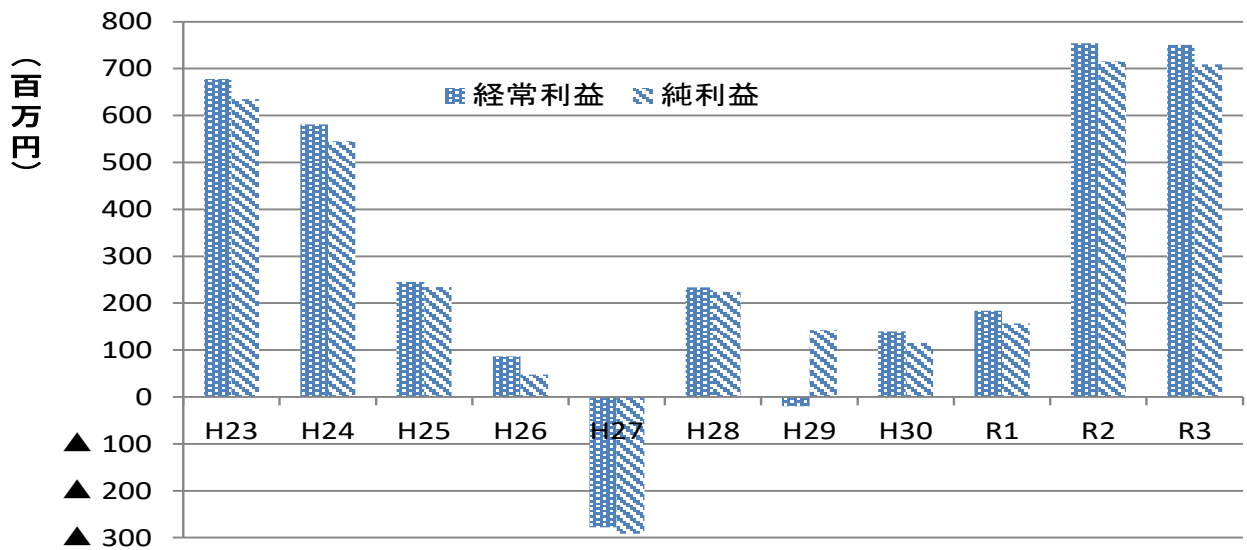
#### (1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
収益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121
前年度比	-	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0	3.9	9.0	1.7
費用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418
前年度比	-	5.4	3.7	4.2	7.2	▲ 0.9	2.4	2.2	3.6	5.7	1.8

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



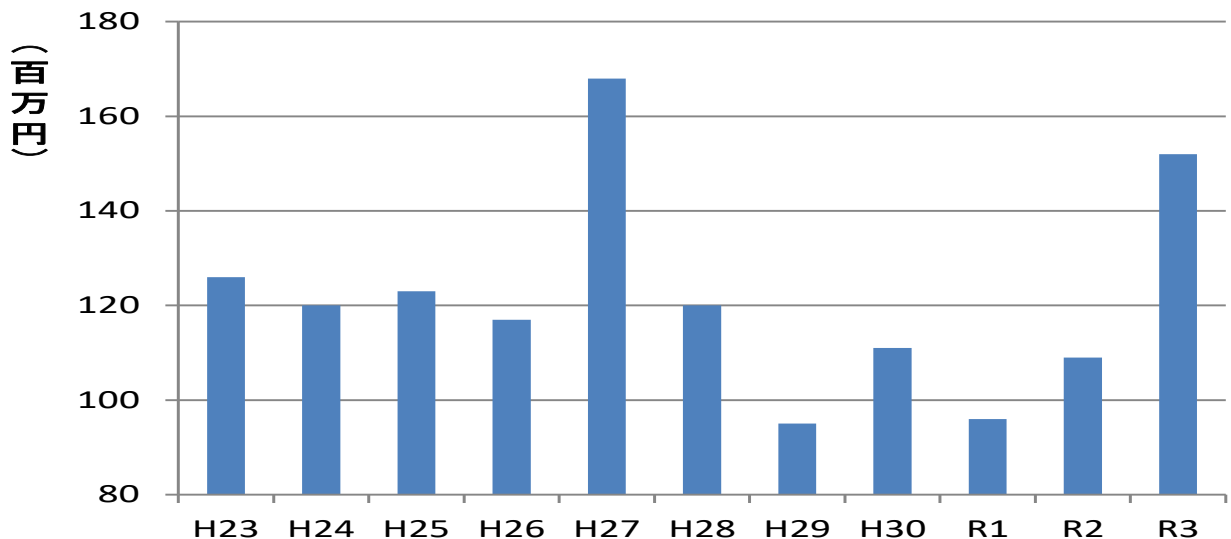
※平成27年度の経常利益、純利益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用を計上したため

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
経常利益	678	581	245	87	▲278	234	▲20	140	184	754	745
純利益	635	545	234	48	▲291	224	143	115	157	715	703

3 本部費配賦額

○ 本部費配賦額は、本部事務局の給与費の増等により、前年度比+39.4% (+4,300万円)



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
本部費配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152
前年度比	-	▲4.8	2.5	▲4.9	43.6	▲28.6	▲20.8	16.8	▲13.5	13.5	39.4

#### 4 収益

- 入院収益は、院内クラスター発生に伴う新規入院患者の制限等により減少したが、一般医療との両立を図り重症患者の受け入れやICU稼働率向上に取り組むことで入院診療単価は向上した。また、外来収益は、血液浄化療法センターにおける透析や薬物療法による患者等が増加したことなどにより増加したことから、医業収益の減少を最小限に抑えた結果、前年度比▲0.5% (▲7,900万円)

**入院診療単価** R2: 72,788円/人 → R3: 74,507円/人 (+1,719円、+2.4%)

**入院延患者数** R2: 148,142人 → R3: 138,857人 (▲9,285人、▲6.3%)

**外来診療単価** R2: 19,496円/人 → R3: 19,683円/人 (+187円、+1.0%)

**外来延患者数** R2: 185,005人 → R3: 198,661人 (+13,656人、+7.4%)

- ・補助金は、新型コロナ患者（重症患者、他院では受け入れ困難な患者含む）受入体制の増強に伴い増加

- 運営費負担金は、高度医療に要する経費の増等により、前年度比+15.0% (+1億8,100万円)

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	18,053	17,754	299	1.7
うち医業収益	14,540	14,619	▲79	▲0.5
うち入院診療収益	10,346	10,783	▲437	▲4.1
うち外来診療収益	3,910	3,607	303	8.4
うち運営費負担金	1,384	1,202	182	15.1
うち補助金	1,877	1,767	110	6.2
営業外収益	68	68	0	0.0
うち運営費負担金	6	7	▲1	▲14.3
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	18,121	17,822	299	1.7
運営費負担金合計	1,390	1,209	181	15.0

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594	16,256	17,754	18,053
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265	14,936	14,619	14,540
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623	11,020	10,783	10,346
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369	3,648	3,607	3,910
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085	1,092	1,202	1,384
うち補助金	99	90	75	103	69	64	64	72	76	1,767	1,877
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143	91	68	68
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10	8	7	6
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0	0	0	0
収益合計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095	1,100	1,209	1,390

#### 【参考】新型コロナウイルス感染症関連の補助金

(単位：百万円)

項 目	金 額
病床確保に関する補助金	1,764
機器整備に関する補助金 (CT撮影装置、超音波画像診断装置、人工呼吸器等)	168
医療提供体制、院内感染拡大防止対策等に関する補助金	33
合 計	1,965

※医療機器整備の補助金は、減価償却期間に応じ、分割して収益計上される。

## 5 費用

- 医業費用は、給与費や減価償却費の増等により、前年度比+2.2% (+3億6,200万円)
  - ・給与費は、新型コロナ対応に係る手当の増や高度専門医療の充実のための職員数の増等により増加
  - ・材料費は、薬物療法の増等による医薬品費の増により増加
  - ・経費は、水道光熱費や新型コロナに係る委託費の増等により増加
  - ・減価償却費は、リニアックの整備等により増加
- 控除対象外消費税は、建設改良費の減により前年度比▲11.2% (▲9,500万円)

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	17,365	17,054	311	1.8
医業費用	16,461	16,099	362	2.2
うち給与費	8,284	8,194	90	1.1
うち材料費	4,518	4,460	58	1.3
うち経費	2,289	2,249	40	1.8
うち減価償却費	1,338	1,169	169	14.5
本部配賦額	152	109	43	39.4
控除対象外消費税等	752	847	▲95	▲11.2
営業外費用	11	14	▲3	▲21.4
臨時損失	42	40	2	5.0
費用合計	17,418	17,107	311	1.8

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業費用	12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531	16,149	17,054	17,365
医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827	15,397	16,099	16,461
うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587	7,622	8,194	8,284
うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217	4,511	4,460	4,518
うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984	2,088	2,249	2,289
うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987	1,126	1,169	1,338
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152
控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593	656	847	752
営業外費用	64	56	46	41	45	24	20	66	14	14	11
臨時損失	45	36	11	39	10	10	12	25	27	40	42
費用合計	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418

## こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

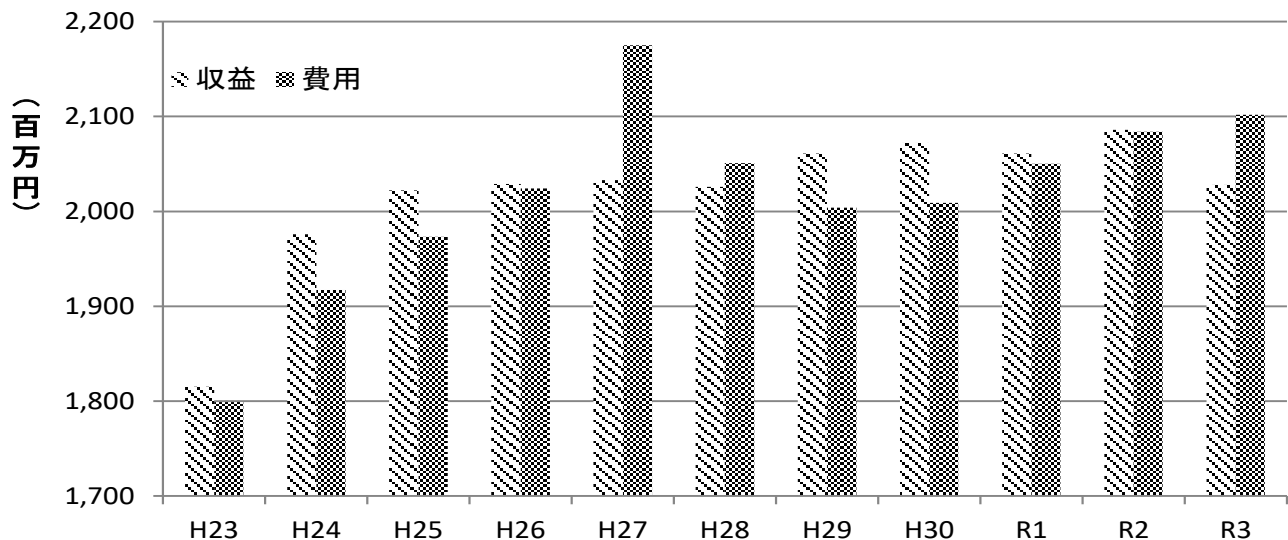
### 1 令和3年度決算の概況（本部費配賦額込）

決算規模	[収益] 20億2,800万円（対前年度比 ▲2.8%▲5,800万円） [費用] 21億200万円（対前年度比 +0.9%+1,800万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の減により減少 ○ 補助金は、新型コロナ補助金の減により減少
費用の状況	○ 医業費用は、経費や減価償却費の増等により増加
経常利益	○ ▲7,000万円の赤字
純利益	○ ▲7,400万円の赤字

### 2 決算規模・決算収支

- 決算規模は、収益20億2,800万円、費用21億200万円となり、収益は減少したが、費用は前年度決算額より増加
- 平成29年度以降、4年連続で黒字を維持していたが、令和3年度は経常利益、純利益とも赤字

#### (1) 決算規模の推移

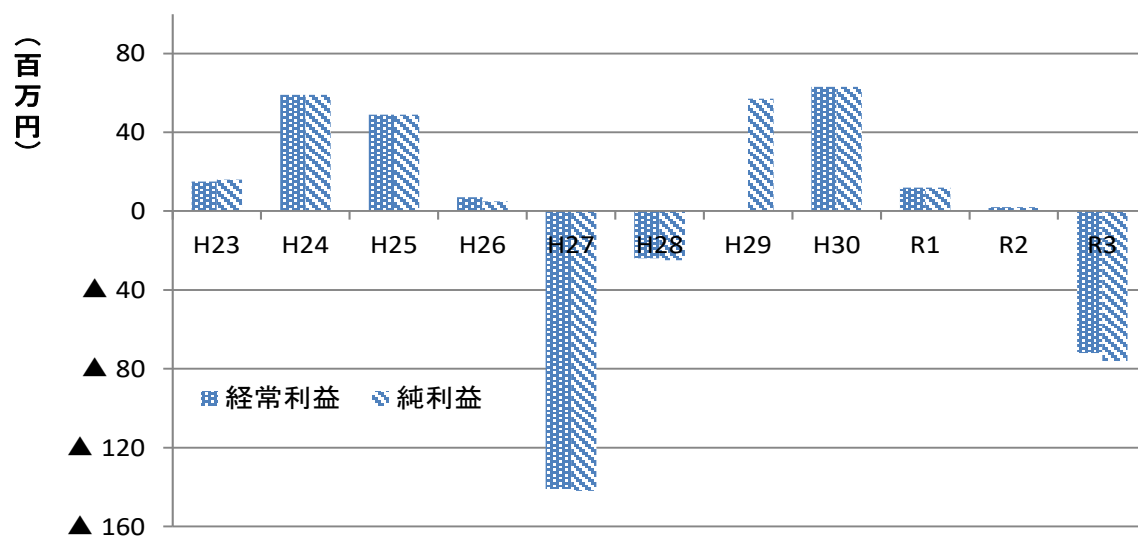


(単位: 百万円、%)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
収益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028
前年度比	-	8.9	2.3	0.3	0.2	▲0.3	1.7	0.5	▲0.5	1.2	▲2.8
費用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102
前年度比	-	6.6	2.9	2.6	7.5	▲5.7	▲2.3	0.2	2.0	1.7	0.9



## (2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



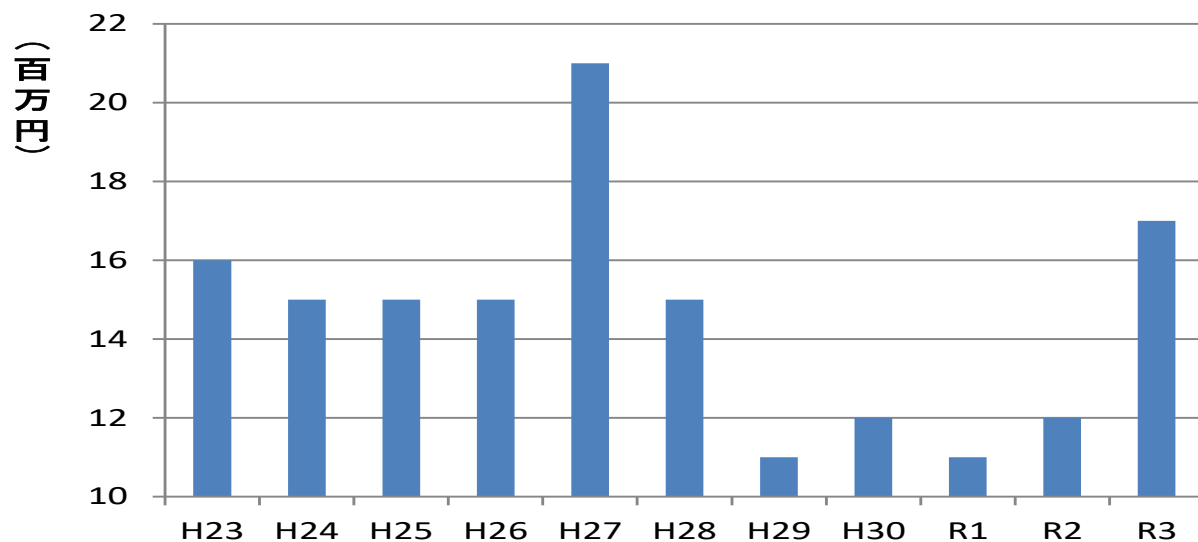
※平成27年度の経常利益、純利益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用を計上したため

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
経常利益	15	59	49	7	▲141	▲24	0	63	12	2	▲70
純利益	16	59	49	5	▲142	▲25	57	63	12	2	▲74

## 3 本部配賦額

○ 本部費配賦額は、本部事務局の給与費の増等により、前年度比+41.7% (+500万円)



年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
本部費配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17
前年度比	-	▲6.3	0.0	0.0	40.0	▲28.6	▲26.7	9.1	▲8.3	9.1	41.7

#### 4 収益

- 医業収益は、新規入院患者数は増加したものの、平均在院日数の減少に伴い入院延患者数が大幅に減少したため前年度比▲1.1% (▲1,600万円)
- ・入院診療収益は、入院延患者数の減等により減少
  - ・外来診療収益は、外来延患者数の増等により増加
  - ・補助金は、新型コロナ補助金の減により減少

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	2,013	2,071	▲ 58	▲ 2.8
うち医業収益	1,506	1,522	▲ 16	▲ 1.1
うち入院診療収益	1,284	1,304	▲ 20	▲ 1.5
うち外来診療収益	221	217	4	1.8
うち運営費負担金	380	393	▲ 13	▲ 3.3
うち補助金	54	87	▲ 33	▲ 37.9
営業外収益	15	15	0	0.0
うち運営費負担金	8	9	▲ 1	▲ 11.1
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	2,028	2,086	▲ 58	▲ 2.8
運営費負担金合計	388	402	▲ 14	▲ 3.5

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056	2,047	2,071	2,013
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596	1,582	1,522	1,506
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370	1,351	1,304	1,284
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225	231	217	221
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386	393	393	380
うち補助金	33	121	34	3	3	2	2	3	2	87	54
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16	14	15	15
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10	10	9	8
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
収益合計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396	403	402	388

#### 【参考】新型コロナウイルス感染症関連の補助金

(単位：百万円)

項 目	金 額
病床確保に関する補助金	28
医療従事者への支援、院内感染拡大防止対策に関する補助金	18
機器整備に関する補助金 (CT 機器 等)	19
合 計	65

※医療機器整備の補助金は、減価償却期間に応じ、分割して収益計上される。

## 5 費用

- 医業費用は、給与費は減少したものの、経費や減価償却費の増等の増加により前年度比+0.7% (+1,500万円)
- ・経費は、水道光熱費の増等により増加
  - ・減価償却費は、電子カルテ更新に伴う増等により増加
  - ・控除対象外消費税は、建設改良費の減等により減少

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	2,081	2,066	15	0.7
医業費用	2,022	2,007	15	0.7
うち給与費	1,428	1,439	▲ 11	▲ 0.8
うち材料費	91	89	2	2.2
うち経費	288	279	9	3.2
うち減価償却費	212	199	13	6.5
本部配賦額	17	12	5	41.7
控除対象外消費税等	43	47	▲ 4	▲ 8.5
営業外費用	17	18	▲ 1	▲ 5.6
臨時損失	4	0	4	-
費用合計	2,102	2,084	18	0.9

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業費用	1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987	2,030	2,066	2,081
医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945	1,983	2,007	2,022
うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364	1,415	1,439	1,428
うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88	90	89	91
うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269	274	279	288
うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218	198	199	212
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17
控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30	36	47	43
営業外費用	58	44	39	34	32	29	23	21	19	18	17
臨時損失	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
費用合計	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102

## 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

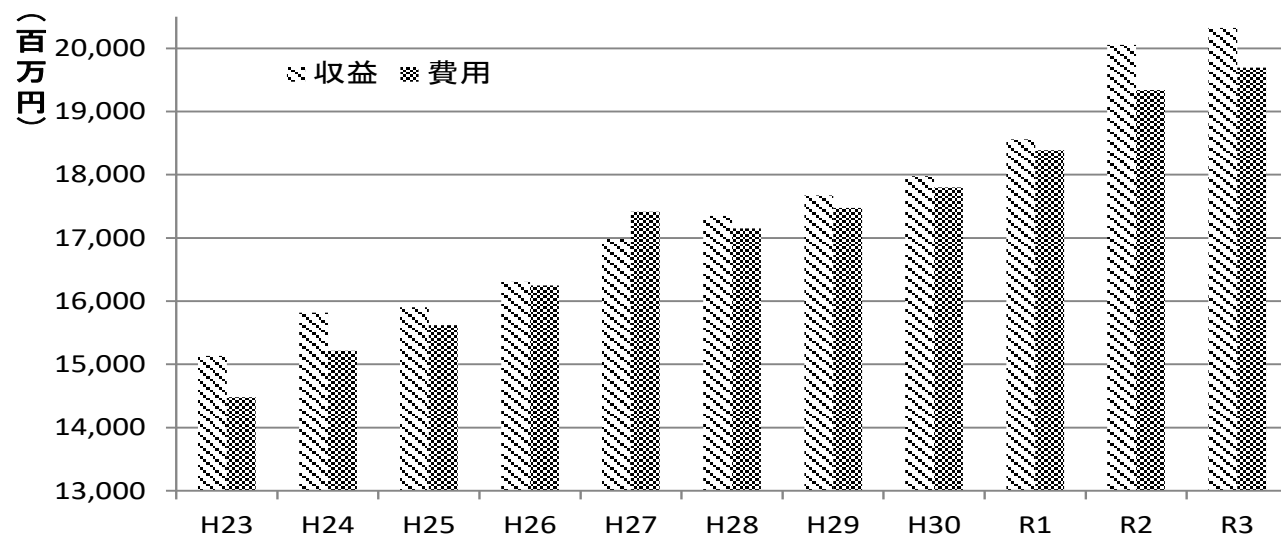
### 1 令和3年度決算の概況

決算規模	[収益] 203億2,400万円（対前年度比+1.3%+2億6,900万円） [費用] 196億9,500万円（対前年度比+1.8%+3億5,700万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の減等により減少 ○ 補助金は、新型コロナ患者受入体制の増強に伴い増加
費用の状況	○ 医業費用は、給与費や減価償却費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、建設改良費の減等により減少
経常利益	○ 6億7,500万円の黒字（4年連続）
純利益	○ 6億2,900万円の黒字（6年連続）
利益剰余金	○ 残高は、22億5,000万円

### 2 決算規模・決算収支

- 決算規模は、収益203億2,400万円、費用196億9,500万円となり、収益費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
- 経常利益は4年連続の黒字、純利益は6年連続の黒字

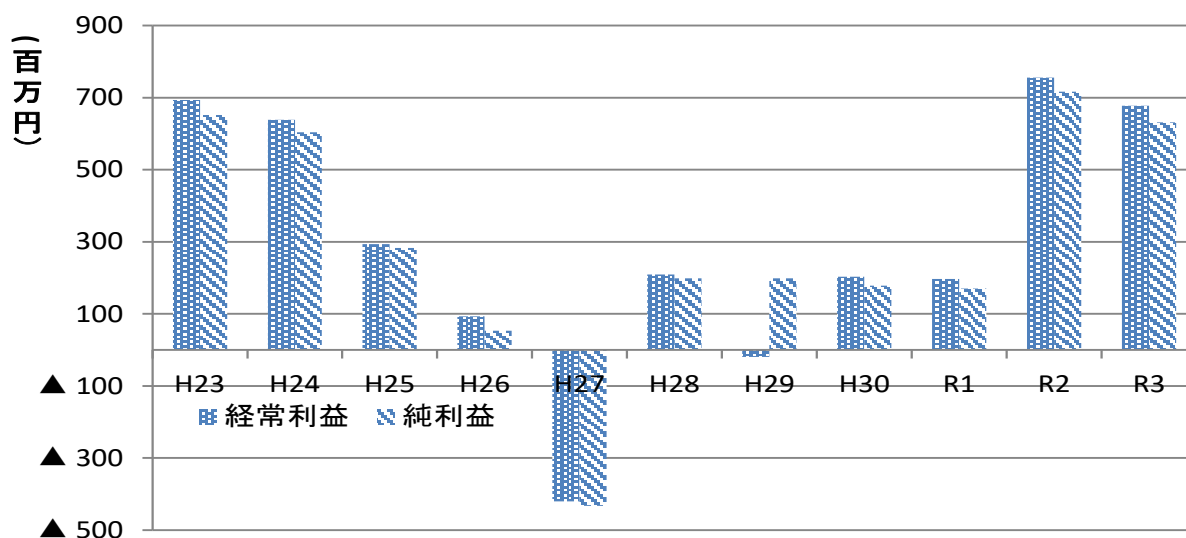
#### (1) 決算規模の推移



（単位 百万円、%）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324
前年度比	-	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7	3.2	8.1	1.3
費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695
前年度比	-	5.1	2.7	4.0	7.2	▲ 1.5	1.9	1.8	3.3	5.2	1.8

## (2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



(単位 百万円)

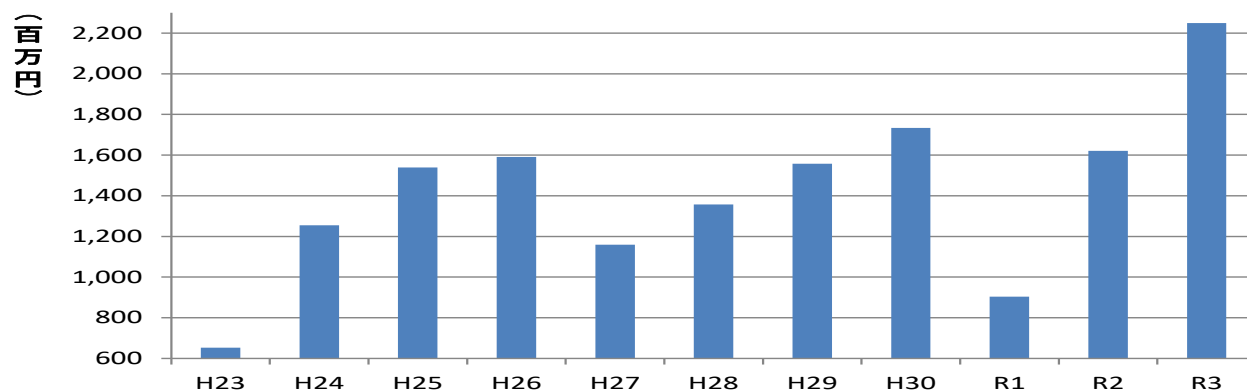
年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
経常利益	694	639	294	93	▲420	209	▲19	203	197	756	675
純利益	652	604	283	53	▲433	199	199	178	170	717	629

### 3 利益剰余金残高

- 利益剰余金は、純利益の黒字により増加し、前年度比+6億2,900万円
- 第3期中期計画期間中（令和元年度からの3年間）に+15億1,600万円
- 第2期中期計画期間終了後の令和元年度に、地方独立行政法人法の規定により利益剰余金の一部10億円を県に納付（▲10億円）

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
剰余金残高	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734	904	1,621	2,250
前年度比	-	92.5	22.6	3.4	▲27.2	17.1	14.7	11.4	▲47.9	79.3	38.8



#### 【参考：地方独立行政法人法（抜粋）】

(利益及び損失の処理等)

第40条第5項 地方独立行政法人は、前項に規定する積立金の額に相当する金額から同項の規定による承認を受けた金額を控除してなお残余があるときは、その残余の額を設立団体に納付しなければならない。

#### 4 収益

- 医業収益は、入院診療収益が減少し、前年度比▲0.6%(▲9,500万円)
  - ・入院診療収益は、新規入院患者数の減等により減少
  - ・外来診療収益は、外来延患者数の増等により増加
- 運営費負担金は、高度医療に要する経費の増等により、前年度比+11.0%(+1億9,400万円)
- 補助金は、新型コロナ患者(重症患者、他院では受け入れ困難な患者含む)受入体制の増強に伴い増加

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	20,241	19,972	269	1.3
うち医業収益	16,046	16,141	▲95	▲0.6
うち入院診療収益	11,630	12,087	▲457	▲3.8
うち外来診療収益	4,131	3,824	307	8.0
うち運営費負担金	1,938	1,742	196	11.3
うち補助金	1,930	1,854	76	4.1
営業外収益	83	82	1	1.2
うち運営費負担金	14	16	▲2	▲12.5
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	20,324	20,055	269	1.3

運営費負担金合計	1,952	1,758	194	11.0
----------	-------	-------	-----	------

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816	18,453	19,972	20,241
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861	16,518	16,141	16,046
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993	12,371	12,087	11,630
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594	3,878	3,824	4,131
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637	1,634	1,742	1,938
うち補助金	132	211	108	106	72	66	65	75	78	1,854	1,930
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159	104	82	83
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20	18	16	14
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0	0	0	0
収益合計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657	1,652	1,758	1,952

## 5 費用

- 医業費用は、給与費、減価償却費等の増加により、前年度比+2.1%  
(+3億7,700万円)
  - ・給与費は、新型コロナ対応に係る手当の増や高度専門医療の充実のための職員数の増等により増加
  - ・材料費は、薬物療法の増等による医薬品費の増により増加
  - ・経費は、水道光熱費や新型コロナに係る機器保守委託費の増等により増加
  - ・減価償却費は、リニアックの整備等により増加
- 控除対象外消費税は、リニアックの整備等の減により前年度比▲11.3%  
(▲1億200万円)
- 独法化以降、医業費用は増加する傾向にあるが、令和3年度は特にリニアックの整備に伴う減価償却費の費用が増加

(単位 百万円、%)

区 分	R3	R2	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	19,620	19,267	353	1.8
医業費用	18,483	18,106	377	2.1
うち給与費	9,712	9,633	79	0.8
うち材料費	4,609	4,549	60	1.3
うち経費	2,577	2,529	48	1.9
うち減価償却費	1,550	1,368	182	13.3
一般管理費	340	261	79	30.3
控除対象外消費税等	798	900	▲102	▲11.3
営業外費用	28	32	▲4	▲12.5
臨時損失	46	40	6	15.0
費用合計	19,695	19,338	357	1.8

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685	18,328	19,267	19,620
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772	17,380	18,106	18,483
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950	9,036	9,633	9,712
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306	4,602	4,549	4,609
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252	2,362	2,529	2,577
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204	1,324	1,368	1,550
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287	254	261	340
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626	694	900	798
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87	33	32	28
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25	27	40	46
費用合計	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695



# 令和3年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

## 【医業収益】

入院診療収益は、新規入院患者数の減等により減少  
 外来診療収益は、外来延患者数の増等により増加

## 【その他収益】

営業収益の運営費負担金収益は、高度医療に要する経費の増等により増加  
 補助金収益は、新型コロナ患者（重症患者、他院では受け入れ困難な患者含む）受入体制の増強に伴い増加

## 【医業費用】

給与費は、新型コロナ対応に係る手当の増や高度専門医療の充実のための職員数の増等により増加  
 材料費は、医薬品費の増等により増加  
 経費は、水道光熱費や新型コロナ対応に係る委託費の増等により増加  
 減価償却費は、総合医療センターにおけるリニアックの整備やこころの医療センターの電子カルテの更新等により増加

## 【その他費用】

控除対象外消費税は、建設改良費の減等により減少

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	R2	R3	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	20,055,025	20,323,676	268,651	
営業収益	19,972,076	20,240,535	268,459	
医業収益	16,140,548	16,045,643	△94,905	
うち入院診療収益	12,086,577	11,629,896	△456,681	新規入院患者数の減
うち外来診療収益	3,823,891	4,131,155	307,264	外来延患者数の増
運営費負担金収益	1,741,828	1,938,313	196,485	高度医療に要する経費の増（総合C）
補助金収益	1,853,770	1,930,418	76,648	コロナ関連補助金の増
その他営業収益	235,930	326,161	90,231	資産見返負債戻入の増（総合C）
営業外収益	82,485	82,985	500	
運営費負担金収益	15,983	14,104	△1,879	
その他営業外収益	66,502	68,881	2,379	
臨時利益	464	156	△308	
費用の部	19,338,167	19,694,985	356,818	
営業費用	19,266,552	19,620,487	353,935	
医業費用	18,105,500	18,483,037	377,537	
給与費	9,633,022	9,711,518	78,496	コロナ対応に係る手当の増及び職員数の増等
材料費	4,548,802	4,609,359	60,557	医薬品費の増
経費	2,528,657	2,576,870	48,213	水道光熱費、委託費の増
減価償却費	1,367,557	1,550,377	182,820	リニアック整備等の増（総合C）
その他医業費用	27,462	34,911	7,449	
一般管理費	260,745	339,764	79,019	
控除対象外消費税等	900,307	797,688	△102,619	建設改良費の減等による減（総合C）
営業外費用	31,808	28,106	△3,702	
臨時損失	39,808	46,391	6,583	
当期純利益	716,858	628,690	△88,168	
（経常利益）	756,200	674,926	△81,274	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。



◆令和3年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前年度対比  
(単位:千円)

区分	R2収支実績 A				R3収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)		
	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計		総合C	ころこ
収益の部	17,822,077	2,085,801	147,147	20,055,025	18,121,490	2,027,888	174,298	20,323,676	299,413	△57,913	27,151	268,651			
営業収益	17,753,959	2,070,970	147,147	19,972,076	18,053,017	2,013,220	174,298	20,240,535	299,058	△57,750	27,151	268,459			
医療収益	14,618,921	1,521,627	0	16,140,548	14,539,924	1,505,719	0	16,045,643	△78,997	△15,908	0	△94,905			
うち入院診療収益	10,782,947	1,303,631	0	12,086,577	10,345,794	1,284,102	0	11,629,896	△437,153	△19,529	0	△456,681	入院延患者数の減 (58,450人→55,342人)		
うち外来診療収益	3,606,894	216,996	0	3,823,891	3,910,259	220,896	0	4,131,155	303,365	3,900	0	307,264	外来延患者数の増 (185,005人→198,611人)		
運営費負担金収益	1,201,903	392,778	147,147	1,741,828	1,383,992	380,023	174,298	1,938,313	182,089	△12,755	27,151	196,485	高度医療に要する経費の増	看護師養成確保事業に要する経費の増	
補助金収益	1,766,967	86,803	0	1,853,770	1,876,894	53,524	0	1,930,418	109,927	△33,279	0	76,648	コロナ関連補助金の増		
その他営業収益	166,168	69,762	0	235,930	252,207	73,954	0	326,161	86,039	4,192	0	90,231			
営業外収益	67,655	14,831	0	82,485	68,329	14,656	0	82,985	674	△175	0	500			
運営費負担金収益	6,897	9,086	0	15,983	5,691	8,413	0	14,104	△1,206	△673	0	△1,879			
その他営業外収益	60,758	5,745	0	66,502	62,638	6,243	0	68,881	1,880	498	0	2,379			
臨時利益	464	0	0	464	144	12	0	156	△320	12	0	△308			
費用の部	16,998,661	2,071,729	267,777	19,338,167	17,266,618	2,085,359	343,008	19,694,965	267,957	13,630	75,231	356,818			
営業費用	16,945,325	2,053,450	267,777	19,266,552	17,213,100	2,064,379	343,008	19,620,487	267,775	10,929	75,231	353,935			
医療費用	16,098,678	2,006,823	0	18,105,500	16,461,231	2,021,806	0	18,483,037	362,553	14,983	0	377,537			
給与費	8,194,251	1,438,771	0	9,633,022	8,283,943	1,427,575	0	9,711,518	89,692	△11,196	0	78,496	職員の減		
材料費	4,460,222	88,580	0	4,548,802	4,517,887	91,472	0	4,609,359	57,665	2,892	0	60,557	医薬品費の増		
経費	2,249,342	279,314	0	2,528,657	2,288,618	288,252	0	2,576,870	39,276	8,938	0	48,213	委託費や水道光熱費の増		
減価償却費	1,169,002	198,555	0	1,367,557	1,338,161	212,216	0	1,550,377	169,159	13,661	0	182,820	電子カルテ更新による増		
その他医療費用	25,860	1,603	0	27,462	32,621	2,290	0	34,911	6,761	687	0	7,449	研修費の増		
一般管理費	0	0	260,745	260,745	0	0	339,764	339,764	0	0	79,019	79,019			給与費の増
控除対象外消費税等	846,648	46,627	7,032	900,307	751,870	42,573	3,245	797,688	△94,778	△4,054	△3,787	△102,619	建設改良費の減等による減		
営業外費用	13,568	18,239	0	31,808	11,242	16,864	0	28,106	△2,326	△1,375	0	△3,702			
臨時損失	39,768	39	0	39,808	42,276	4,115	0	46,391	2,508	4,076	0	6,583	固定資産除却費の増		
当期純利益	823,416	14,071	△120,630	716,856	854,872	△57,472	△168,710	628,690	31,456	△71,543	△48,080	△88,168			
(経常利益)	862,720	14,110	△120,630	756,200	897,004	△53,369	△168,710	674,926	34,284	△67,479	△48,080	△81,274			
(経常利益 本部費配賦込)	754,153	2,047	0	756,200	745,165	△70,240	0	674,926	△8,988	△72,287	0	△81,274			
経常収支比率	105.09%	100.68%	54.95%	103.92%	105.21%	97.44%	50.81%	103.43%							

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、素内計算数値と一致しない場合がある。

## 令和3年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

### 【医業収益】

入院診療収益は、新規入院患者数の減等により減少  
 外来診療収益は、外来延患者数の減等により減少

### 【補助金収益】

新型コロナ患者（重症患者、他院では受け入れ困難な患者含む）受入に伴い増加

### 【医業費用】

給与費は、職員数の減等により減少  
 材料費は、患者数の減に伴う診療材料費の減により減少  
 経費は、委託費の減等により減少  
 減価償却費は、建設改良の増等により増加

### 【その他費用】

一般管理費は、職員数の減に伴う給与費の減等により減少

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	20,265,515	20,323,676	58,161	
営業収益	20,166,816	20,240,535	73,719	
医業収益	17,919,753	16,045,643	△1,874,110	
うち入院診療収益	13,468,166	11,629,896	△1,838,270	新規入院患者数の減
うち外来診療収益	4,166,865	4,131,155	△35,710	外来延患者数の減
運営費負担金収益	1,938,389	1,938,313	△76	
補助金収益	82,773	1,930,418	1,847,645	コロナ関連補助金の増
その他営業収益	225,901	326,161	100,260	
営業外収益	98,699	82,985	△15,714	
運営費負担金収益	14,986	14,104	△882	
その他営業外収益	83,713	68,881	△14,832	駐車場収入の減（総合C）
臨時利益	0	156	156	
費用の部	20,227,586	19,694,985	△532,601	
営業費用	20,150,208	19,620,487	△529,721	
医業費用	18,948,576	18,483,037	△465,539	
給与費	9,960,367	9,711,518	△248,849	職員数減に伴う給与費の減
材料費	4,800,287	4,609,359	△190,928	診療材料費の減（総合C）
経費	2,596,964	2,576,870	△20,094	委託費の減（総合C）
減価償却費	1,516,139	1,550,377	34,238	建設改良の増
その他医業費用	74,819	34,911	△39,908	研修費の減
一般管理費	354,002	339,764	△14,238	職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	847,630	797,688	△49,942	
営業外費用	32,669	28,106	△4,563	
臨時損失	44,709	46,391	1,682	
当期純利益	37,929	628,690	590,761	
（経常利益）	82,638	674,926	592,288	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和3年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比  
(単位 千円)

区分	R3収支計画 A			R3収支実績 B			差額 (B-A)			主な増減理由(計画対比)		
	総合C	本部	計	総合C	本部	計	総合C	本部	計	総合C	本部	計
収益の部	17,886,087	2,196,131	20,265,515	18,121,490	2,027,888	20,323,676	235,403	△168,243	58,161			
営業収益	17,800,146	2,183,373	20,186,816	18,053,017	2,013,220	20,240,535	252,871	△170,153	73,719			
医業収益	16,196,937	1,722,816	17,919,753	14,539,924	1,505,719	16,045,643	△1,657,013	△217,097	△1,874,110			
うち入院診療収益	12,009,381	1,458,785	13,468,166	10,345,794	1,284,102	11,629,896	△1,663,587	△174,683	△1,838,270	新規入院患者の減 (11,650人→9,902人)	入院延患者の減 (58,500人→55,342人)	
うち外来診療収益	3,903,556	263,309	4,166,865	3,910,259	220,896	4,131,155	6,703	△42,413	△35,710	外来延患者数の増 (181,984人→198,661人)	外来延患者数の減 (32,680人→31,161人)	
運営費負担金収益	1,372,342	382,750	1,938,389	1,363,992	380,023	1,938,313	11,650	△2,727	△76	公衆衛生活動に要する 経費の増	精神病院の運営に要 する経費の減	
補助金収益	75,480	7,293	82,773	1,876,894	53,524	1,930,418	1,801,414	46,231	1,847,645	コロナ関連補助金の増		看護師養成確保事業 に要する経費の減
その他営業収益	155,387	70,514	225,901	252,207	73,954	326,161	96,820	3,440	100,260			
営業外収益	85,941	12,758	98,699	68,329	14,656	82,985	△17,612	1,898	△15,714			
運営費負担金収益	6,363	8,623	14,986	5,691	8,413	14,104	△672	△210	△882			
その他営業外収益	79,578	4,135	83,713	62,638	6,243	68,881	△16,940	2,108	△14,832			
臨時利益	0	0	0	144	12	156	144	12	156			
費用の部	17,685,020	2,176,876	20,227,586	17,266,618	2,085,359	19,694,985	△418,402	△91,517	△532,601			
営業費用	17,627,851	2,156,667	20,150,208	17,213,100	2,064,379	19,620,487	△414,751	△92,288	△529,721			
医業費用	16,837,065	2,111,511	18,948,576	16,461,231	2,021,806	18,483,037	△375,834	△89,705	△465,539			
給与費	8,474,324	1,486,043	9,960,367	8,283,943	1,427,575	9,711,518	△190,381	△58,468	△248,849	職員数の減		
材料費	4,698,410	101,877	4,800,287	4,517,887	91,472	4,609,359	△180,523	△10,405	△190,928	診療材料費の減		
経費	2,290,244	306,720	2,596,964	2,288,618	288,252	2,576,870	△1,626	△18,468	△20,094	委託費の減		
減価償却費	1,304,267	211,872	1,516,139	1,338,161	212,216	1,550,377	33,894	344	34,238	建設改良の増		
その他医業費用	69,820	4,999	74,819	32,621	2,290	34,911	△37,199	△2,709	△39,908	研修費の減		
一般管理費	0	0	354,002	0	0	339,764	339,764	0	△14,238			職員数減に伴う給与 費の減
控除対象外消費税等	790,786	45,156	847,630	751,870	42,573	797,688	△38,916	△2,583	△49,942			
営業外費用	14,191	18,478	32,669	11,242	16,864	28,106	△2,949	△1,614	△4,563			
臨時損失	42,978	1,731	44,709	42,276	4,115	46,391	△702	2,384	1,682			
当期純利益	201,067	19,255	△182,393	854,872	△57,472	628,690	653,805	△76,727	13,683	590,761		
(経常利益)	244,045	20,986	△182,393	897,004	△53,369	674,926	652,959	△74,355	592,288			
(経常利益 本部費配賦込)	79,891	2,747	0	745,165	△70,240	674,926	665,274	△72,987	592,288			
経常収支比率	101.35%	100.96%	50.12%	105.21%	97.44%	50.81%	103.43%					

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

## 目的積立金の計上について

### 1 目的積立金の計上

- ・ 現中期計画との整合性を図りつつ、昨年度、建替えに向けてセンターが作成した検討調査会報告書及び現在、県が策定中の基本構想等の具体化を進める観点から、センター独自の取組として、人材確保と施設・設備整備を中心とした2種類の目的積立金を計上
- ・ 目的積立金は、当面、令和3事業年度決算から機能強化に向けた病院建替えまでの間で、計上・取崩し

### 2 目的積立金の内容

#### (1) 医療従事者等確保積立金

①現医療従事者の処遇向上による離職等の防止及び建替え後の機能強化等を見据えた②医師・③看護師④薬剤師の確保等が目的

##### ① 現医療従事者等の処遇向上

- 医師インセンティブ制度…医師の士気向上（個人別又は診療科別のインセンティブの付与）
- 看護師の勤務環境改善…夜間保育料の全額支給、夜勤手当の倍増、院内保育施設の整備（修繕、遊具交換、保育士確保）

##### ② 医師の確保

- センターに不足している医師の確保に向けた取組（寄附講座の設置、てんかん支援拠点病院等の指定取得）

##### ③ 看護師の確保

- センターへの看護師就業を促進し、7対1看護等急性期機能を強化（養成校・関係職能団体との連携、就業者に係る修学資金等の債務引受け）

##### ④ 薬剤師の確保

- 薬学部設置大学と連携して、センターでの臨床研修環境等を整備

#### (2) 施設・設備整備等積立金

建替えまでの間の必須医療機器等の整備及びその設置又は躯体修繕工事、システムの構築・運用管理等に充てることが目的

### 3 目的積立金の計上額

(単位：千円)

目的積立金	項目	計上額
医療従事者等確保積立金	現医療従事者等の処遇向上	505,000
	医師の確保	114,000
	看護師の確保	190,000
	薬剤師の確保	42,000
施設・設備整備等積立金	機器等整備費	550,000
	設置等工事費	106,000
合 計		1,507,000

### 4 目的積立金の財源

今期（令和元事業年度から3事業年度までの間）に造成した利益剰余金である1,507百万円を財源とする。

## ◆関係条文

### (利益及び損失の処理等)

第40条 地方独立行政法人は、毎事業年度、損益計算において利益を生じたときは、前事業年度から繰り越した損失を埋め、なお残余があるときは、その残余の額は、積立金として整理しなければならない。ただし、第3項の規定により同項の用途に充てる場合は、この限りでない。▼(別途)積立金

2 地方独立行政法人は、毎事業年度、損益計算において損失を生じたときは、前項の規定による積立金を減額して整理し、なお不足があるときは、その不足額は、繰越欠損金として整理しなければならない。

3 地方独立行政法人は、毎事業年度、第1項に規定する残余があるときは、設立団体の長の承認を受けて、その残余の額の全部又は一部を翌事業年度に係る認可中期計画の第26条第2項第6号の剰余金の用途に充てることができる。▼目的積立金

4 地方独立行政法人は、中期目標の期間の最後の事業年度に係る第1項又は第2項の規定による整理を行った後、第1項の規定による積るときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額を、当該中期目標の期間の次の中期目標の期間に係る認可中期計画の定めるところにより、当該次の中期目標の期間における業務の財源に充てることができる。▼前中期目標期間繰越積立金

5 地方独立行政法人は、前項に規定する積立金の額に相当する金額から同項の規定による承認を受けた金額を控除してなお残余があるときは、その残余の額を設立団体に納付しなければならない。

### (利益及び損失の処理の特例)

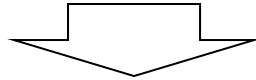
第84条 公営企業型地方独立行政法人が、毎事業年度、第40条第1項に規定する残余の額の全部又は一部を翌事業年度に係る認可中期計画の第26条第2項第6号の剰余金の用途に充てる場合には、第40条第3項の規定にかかわらず、設立団体の長の承認を受けることを要しない。

## 令和3年度業務実績及び第3期中期目標見込み評価

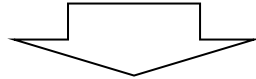
### 1 令和3年度業務実績の自己評価結果

#### (1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）  
（d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）  
（D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

#### (2) 自己評価の結果

##### ◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「順調」（A評価）

##### ◆評定概要

区分	評価 項目数	評点別項目数					評点 平均数	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	43	3	25	15	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	0	2	0	0	0	4.0	a
全体	53	3	32	18	0	0	3.8	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

## 2 令和3年度の主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 県立総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 有識者を加えた組織を設置し、総合医療センターが将来にわたって、本県医療の中核的な役割を一層担えるよう、建替えを視野に入れた機能強化の検討を実施
- (ウ) 地域がん診療連携拠点病院として、更新したリニアックを活用してがん患者の病態・病状に応じた適切ながん治療を提供
- (エ) 助産院において、産後の母子に対し、地域ニーズに合わせた産後ケアを実施
- (オ) へき地医療機関の若手医師に対し、実際の患者の通常診療において5Gを活用して遠隔指導を行う、全国で初めての実証試験を実施
- (カ) 感染症指定医療機関として、他院では受け入れが困難な重症患者や妊婦等を含む多数の新型コロナウイルス感染症患者に適切な医療を提供
- (キ) 新型コロナウイルス感染症の重症患者の受入人数を増加させるため、一般病棟の改修工事を実施
- (ク) 軽症者等の新型コロナウイルス感染症患者が入所する宿泊療養施設への定期訪問診療を実施
- (ケ) 新型コロナウイルス感染症患者に対して、県内初の中和抗体薬が投与可能な専門外来を開設
- (コ) 県が実効性の高い新型コロナウイルス感染症対策が実施できるよう県新型コロナウイルス感染症対策室へ医師を派遣
- (サ) 県との新型コロナウイルス感染症に関する協定に基づき、感染拡大の防止や医療支援を行うために医療機関等へ医師を派遣
- (シ) 消化器内視鏡センターにおいて、鎮静化における痛みや苦しみの少ない内視鏡検査を行い、胃がんや大腸がんを早期に発見し、低侵襲な内視鏡治療を実施
- (ス) 心血管カテーテル治療室において、心臓疾患に対する高度専門医療を提供
- (セ) 人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット2台体制による手術を実施。人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップクラス
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数 631 件（計画 400 件）
- (ソ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (タ) その他
  - てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

##### イ 県立こころの医療センター

- (ア) 精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供
- (イ) 認知症疾患医療センターにおいて保健医療機関・介護機関と連携を図り、相談・支援体制を充実

(ウ) 他院では受け入れが困難な精神症状の重い新型コロナウイルス感染症患者を受入

(エ) 山口障害者職業センターと共催で、高次脳機能障害者の就労支援のための協議会を新たに開催するなど、新規就労及び復職支援を実施

#### ウ 地域医療への支援

患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）

・紹介率 73.2%（50%以上）、逆紹介率 110.1%（70%以上）

※括弧内は地域医療支援病院の承認要件

#### エ 医療従事者の確保、専門性の向上

(ア) インターネットを活用して効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の追加実施、随時実施に加え、WEB面接の活用

(イ) 看護師不足に対応するため、人材育成・採用担当の専任職員を配置し、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

#### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

(ア) 院内迅速対応システム（RRS）を活用し、患者の急激な病態悪化を予防

(イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進

(ウ) 臨床工学技士の常置人数を増員し、安全管理の強化と看護師からのタスクシフトを推進

(エ) 新型コロナウイルスの院内感染防止のため、発熱外来の設置、面会の禁止、来院者の検温・問診等を実施、さらに、入院時の抗原検査又はPCR検査の実施に加え、入院後も一定期間は検査を実施し、陰性を確認

(オ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施（総合C）

(カ) 病棟再編による各診療センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）

長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施（こころC）

(キ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施

・総合医療センター患者満足度 98.4%（計画 95.0%）

・こころの医療センター患者満足度 96.3%（計画 95.0%）

(ク) 県民公開講座のハイブリッド形式による開催、病院広報誌の定期発行、テレビ番組「やまぐち医療最前線」の放送などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

#### カ 施設設備の整備

・新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療に必要な医療機器、院内感染防止に必要な検査機器の整備

・超音波センター、消化器内視鏡センター、PET-CT室の整備（総合C）



- ・新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療に必要な医療機器、災害拠点精神科病院の機能を担うための備品の整備（こころC）

② 医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の受入を実施

（初期臨床研修医 35 人、後期臨床研修医 8 人）（総合C）

(2) 業務運営の改善等

① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施

② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化（総合C）

イ 組織・人員配置の弾力的運用

リハビリテーションの充実及び診療報酬の増収のため理学療法士1名等増員（総合C）

ウ 2病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた3病院による調達を行うことで、効率的な業務運営を実施（値引率 R2:16.5% → R3:17.8%）

③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用（総合C）

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

- ・材料費対医業収益比率 31.1%（計画 29%以下）（総合C）

- ・材料費対医業収益比率 6.1%（計画 6%以下）（こころC）

(3) 財務内容の改善

経常収支の改善

ア 収支実績

病院機構全体の経常利益は、黒字となった。

（単位：千円）

区分	R3計画	R3実績	差引
総合医療センター	244,045	897,004	652,959
こころの医療センター	20,986	△53,369	△74,355
機構本部	△182,393	△168,710	13,683
法人全体	82,638	674,926	592,288

イ 収益及び費用の状況

収益の部は、前年度に比べ、268,651千円増加

《参考》

区 分		R3 実績	
		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数（人）	138,857	55,342
	診療単価（円）	74,507	23,203
外来	延患者数（人）	198,661	31,161
	診療単価（円）	19,683	7,089

費用の部は、前年度に比べ、356,818千円増加

ウ 経営指標の状況

- ・ 法人全体経常収支比率 103.4%（前年度 103.9%）
- ・ 総合医療センター経常収支比率 105.2%（前年度 105.1%）
- ・ こころの医療センター経常収支比率 97.4%（前年度 100.7%）
- ・ 総合医療センター医業収支比率 88.3%（前年度 90.8%）
- ・ こころの医療センター医業収支比率 74.5%（前年度 75.8%）
- ・ 総合医療センター流動性比率 181.5%（前年度 161.1%）
- ・ こころの医療センター流動性比率 179.8%（前年度 341.5%）

（単位：百万円）

区 分	総合C	こころC	機構本部	法人全体
総収益	18,121	2,028	174	20,324
経常収益	18,121	2,028	174	20,324
営業収益	18,053	2,013	174	20,241
うち医業収益	14,540	1,506	0	16,046
営業外収益	68	15	0	83
臨時利益	0	0	0	0
総費用	17,267	2,085	343	19,695
経常費用	17,224	2,081	343	19,649
営業費用	17,213	2,064	343	19,620
うち医業費用	16,461	2,022	0	18,483
営業外費用	11	17	0	28
臨時損失	42	4	0	46
経常損益	897	△53	△169	675
純利益	855	△57	△169	629

#### (4) その他重要事項

##### ① 人事に関する事項

- ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、採用試験の追加試験に加え、随時試験の実施及びWEB面接の採用等適切な採用試験の実施（総合C）
- イ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み、新型コロナウイルス感染症対応特別一時金を支給
- ウ 看護職員やコ・メディカルを対象とした看護職員等処遇改善手当を新設

##### ② 就労環境に関する事項

- ア 職員満足度アンケート調査の結果をもとに、職員駐車場の増設等、就労環境の改善を促進
- イ 時間外勤務の削減に向けて、看護職員の制服2色制を導入し、日勤者と夜勤者を視覚的に区別

### 3 対処すべき課題

#### (1) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター）

総合医療センターの機能強化については、がんや心筋梗塞などの循環器病等に対する高度急性期医療の強化、生殖医療や遺伝子医療をはじめとする最先端医療への取組、災害医療・感染症医療などの政策的医療への対応、へき地医療・小児医療などの地域医療への貢献という大きく4つの視点に基づいて図っていく。

また、こうした機能を強化するためには、受入患者の重症度や医療・看護必要度を踏まえ、病床構成を含めたセンターの急性期機能の強化を図る必要がある。

さらに、センターが将来にわたって、本県の感染症医療、高度専門医療等の拠点として中核的役割を一層果たしていけるよう、近隣に全面的に建て替えることを基本に、機能強化の早期実現に取り組む必要がある。

#### (2) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター）

精神科救急医療の基幹病院としての役割を積極的に担うとともに、児童・思春期、認知症等の専門診療体制の機能強化に向けて、多職種チーム医療の一層の充実を図っていく。

また、災害拠点精神科病院として機能充実に努めるとともに、災害派遣精神医療チーム（DPAT）のさらなる充実を図る必要がある。

#### (3) 医療従事者の確保

機能強化の効果的な実現に向けては、施設整備のみだけでなく、これらを有効活用できる人材確保及び育成が極めて重要である。高度専門医療を担う医師、看護師や薬剤師を確保・育成するために目的積立金を財源に活用し、医師へのインセンティブ制度の導入、寄附講座の創設、看護師の勤務環境改善、薬学部設置大学と連携したセンターでの臨床研修環境等を整備していく必要がある。

また、長時間労働を是正し、働き方改革を推進していくために、医師から看護師、看護師から他職種など、さらなる医療従事者間のタスクシフトを図っていく必要がある。

◇ 令和3年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (令和4年3月31日現在)

(単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	14,998	固定負債	12,682
有形固定資産	12,885	資産見返負債	1,453
土地	3,734	長期借入金	2,960
建物	6,047	移行前地方債償還債務	3,114
器械備品	3,095	退職給付引当金	5,154
その他	8	流動負債	3,823
無形固定資産	413	一年以内返済予定	1,122
投資その他の資産	1,700	未払金	2,049
流動資産	6,901	その他	652
現金及び預金	2,072	【負債合計】	16,505
未収入金	4,787	資本金	3,144
その他	55	利益剰余金	2,249
		【純資産合計】	5,394
合計	21,899	合計	21,899

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	19,620	営業収益	20,241
医業費用	18,483	医業収益	16,046
一般管理費	340	運営費負担金収益	1,938
その他	798	補助金	1,930
営業外費用	28	その他	326
臨時損失	46	営業外収益	83
当期純利益	629	運営費負担金収益	14
		その他	69
		臨時利益	0
合計	20,324	合計	20,324

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	20,076	営業費用	17,497
医業収益	16,046	医業費用	16,968
運営費負担金収益	1,938	一般管理費	287
補助金収益	1,930	その他	243
その他	161	営業外費用	28
営業外収益	83	臨時損失	0
運営費負担金収益	14	資本支出	2,426
その他	68	建設改良費	1,114
臨時利益	0	償還金	1,312
資本収入	875	資金収支	1,081
長期借入金	875		
その他資本収入	0		
合計	21,033	合計	21,033

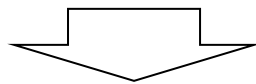
#### 4 第3期中期目標見込み評価の自己評価結果

##### (1) 見込み評価の実施

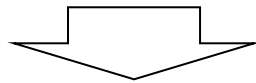
地方独立行政法人法第28条第1項第2号により、中期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度においては、当該事業年度における業務の実績に合わせて中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績について、設立団体の長の評価を受けることが義務付けられている。

##### (2) 自己評価の方法

- ① 令和元年度から令和3年度までの業務実績の状況や、中期目標に対する令和3年度終了時点の進捗状況を踏まえ、中期計画の個別項目ごとに達成の見込みを5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 中期計画の4つの大項目ごとに達成の見込みを5段階評価（s、a、b、c、d）  
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）  
 （d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 中期計画全体の達成の見込みを5段階評価（S、A、B、C、D）  
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）  
 （D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

##### (3) 自己評価の結果

###### ◆全体的な状況

中期目標全体の進捗は「十分達成の見込み」（A評価）

###### ◆評価概要

区分	評価項目数	評点別項目数					評点平均数	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	43	3	25	15	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	0	2	0	0	0	4.0	a
全体	53	3	32	18	0	0	3.8	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

【参考 1 : 令和元～3 年度業務実績及び 4 年度見込み評価項目別評価一覧】

No	大項目	中項目	小項目	個別項目	事業年度評価			備考 (R1～R3間の評価変更理由)	見込み評価
					R1	R2	R3		
1	第1	1		総合医療センター (No 2～No15総括評価)	3	3	3		3
2				救急医療	3	3	3		3
3				周産期医療	3	3	3		3
4				へき地医療	4	4	4		4
5				災害医療	4	4	4		4
6				感染症医療	4	5	5	新型コロナウイルスへの対応	5
7				専門医療 (がん) (No 8～No 9 総括評価)	4	4	4		4
8				固形がん	4	4	4		4
9				血液がん	3	3	3		3
10				脳卒中	4	4	4		4
11				心筋梗塞等の心血管疾患	3	3	3		3
12				糖尿病	3	3	3		3
13				人工関節治療	5	5	5		5
14				リハビリテーション	5	5	5		5
15				その他	4	4	4		4
16				こころの医療センター (No17～No22総括評価)	3	3	3		3
17				精神科救急・急性期医療	4	4	4		4
18				難治性・重症患者	3	3	3		3
19				児童・思春期精神科医療	4	4	4		4
20				認知症、高次脳機能障害	4	4	4		4
21				災害精神医療	4	4	4		4
22				司法精神医療体制の向上	3	3	3		3
23				(2) 県内医療機関等との連携	4	4	4		4
24				県内医療機関への支援	4	4	4		4
25				社会的な要請への協力	3	3	3		3
26				(3) 医療従事者確保	4	4	4		4
27				医療従事者の専門性向上	4	4	4		4
28				医療に関する安全性の確保	4	4	4		4
29				(4) 医療品及び医療機器の安全管理	4	4	4		4
30				院内感染防止対策	4	4	4		4
31				(5) 入院から退院までの支援体制の充実	4	4	4		4
32				インフォームドコンセントの充実	3	3	3		3
33				クリニカルパスの活用	4	4	4		4
34				患者及び家族への相談支援	3	3	3		3
35				チーム医療の推進	4	4	4		4
36				適正な情報管理	3	3	3		3
37				院内サービスの向上	4	4	4		4
38				情報の発信	4	3	4	県民公開講座の開催	4
39	(6) 施設設備の整備	4	4	4		4			
40	2	臨床研究の実施	4	4	4		4		
41	(1) 臨床研修医の受け入れ	4	4	4		4			
42	(2) 実習生の受け入れ	3	3	3		3			
43	(3) 地域医療従事者の育成	3	3	3		3			
44	第2	1	内部統制の推進	4	4	4		4	
45	2		経営管理体制の強化	3	3	3		3	
46			組織、人員配置の弾力的運用	4	4	4		4	
47			適正な予算執行	4	4	4		4	
48	3		2病院の連携	3	3	3		3	
49			収入の確保	3	3	3		3	
50			費用の節減	4	4	4		4	
51	第3		経常収支の改善	4	4	4		4	
52	第4	1	人材の確保と育成に関する計画	3	4	4	各種手当の拡充等	4	
53	2		働きやすい職場づくりに関する計画	4	4	4		4	



## 【参考2：令和元年度及び2年度の主要な成果（抜粋）】

### 1 令和元年度（第3期中期計画1年目）

#### （1）業務の質の向上

##### ① 医療の提供

###### ア 県立総合医療センター

- （ア）県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- （イ）県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、感染症医療など、他の医療機関では対応が困難な医療や不採算医療などに対し、積極的に対応
- （ウ）専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、新規入院患者数の増加や病床利用率の向上に取り組むなど経営基盤を強化
- （エ）NICU入院児支援コーディネーター等が中心となり、地域保健・医療・福祉関係機関と連携して施設や住宅への移行支援を実施
- （オ）へき地等の地域医療を担う総合医を独自のプログラムにより積極的に育成
- （カ）感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症への迅速な対応の実施
- （キ）がんの病態に応じ、胸（腹）腔鏡下手術や薬物療法など高度・専門的な医療を引き続き提供
- （ク）消化器病センターにおいて、内科、外科が連携して高齢者や食道癌などの大手術の患者に対し、術前から、がんリハビリテーションを積極的に実施
- （ケ）心臓疾患に対する専門的な医療体制を強化するため、心血管カテーテル治療室を整備
- （コ）かかりつけ医では対応できない重症透析患者に対応するため、血液浄化療法センターを整備
- （サ）人工関節センターでの人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップ
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数 641 件（計画 400 件）
- （シ）院内で365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- （ス）その他
  - 認知症に対し、脳神経内科・神経科・脳外科の三科の専門性を活かした診断と治療の実施
  - てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

###### イ 県立こころの医療センター

- （ア）県の医療計画に基づく精神科救急体制の高度化・効率化の推進や、専門医療、司法精神医療の充実
- （イ）認知症疾患医療センターと福祉・介護機関などが連携した相談・支援体制の充実
- （ウ）山口障害者職業センター等と連携した新規就労及び復職支援の開始
- （エ）災害拠点精神科病院の役割が担えるよう必要な機能及び災害派遣精神医療チーム（DPAT）の充実

#### ウ 地域医療への支援

- (ア) 患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）
  - ・紹介率 83.5%（50%以上）、逆紹介率 96.5%（70%以上）
  - ※括弧内は地域医療支援病院の承認要件
- (イ) 「県央デルタネット」の患者情報開示施設として、重複検査や重複投薬などが防止できるよう、必要な情報を開示

#### エ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットを通じた効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の日程の見直し及び随時実施
- (イ) 医師看護師等の研修参加や専門的な資格取得に対する支援

#### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 転倒・転落事故発生率は両病院共、非常に低い水準を維持
- (イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進
- (ウ) 手術室の臨床工学技士配置人数を増員し、装置不具合発生時の対応強化と看護師からのタスクシフトを推進
- (エ) 新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のため、面会者等に対する検温・問診を実施
- (オ) 入退院支援センターにおいて、令和元年11月から病状により同センターを経由しない患者に対し、病棟での入退院支援を新たに開始（総合C）
- (カ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、令和元年10月から徳山ハローワークと協働し、離職している患者への就職支援窓口を開設（総合C）
- (キ) 病棟再編による各センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）
  - 長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施（こころC）
- (ク) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施
  - ・総合医療センター患者満足度 98.5%（計画 95.0%）
  - ・こころの医療センター患者満足度 96.3%（計画 95.0%）
- (ケ) 県民公開講座の開催、病院広報誌の定期発行、テレビ「やまぐち医療最前線」などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

#### カ 施設設備の整備

- ・心血管カテーテル治療室や血液浄化療法センターの整備（総合C）
- ・薬剤調剤支援システムの更新（こころC）

### ② 医療に関する調査及び研究

- 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）
  - ・製造販売後調査 16 件、治験 2 件



### ③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の積極的な受入を実施

(初期臨床研修医 33 人、後期臨床研修医 9 人、救急救命士 46 人) (総合C)

## (2) 業務運営の改善等

### ① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施するとともに、内部統制の推進に必要なリスク管理規程を整備

### ② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化 (総合C)

イ 組織・人員配置の弾力的運用

リハビリテーションの充実のため理学療法士 4 名、作業療法士 1 名を増員 (総合C)

ウ 2 病院の連携

医薬品の共同調達については、令和元年 10 月より両病院に山口大学医学部附属病院を加えた 3 病院による調達を開始することで、効率的な業務運営を実施

### ③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

病棟を跨ぐ、きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用 (総合C)

外部委託により平成 28 年度から約 16,500 千円の未収金を回収 (総合C)

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率 30.2% (計画 29%以下) (総合C)

・材料費対医業収益比率 5.8% (計画 6%以下) (こころC)

## (3) その他重要事項

### ① 人事に関する事項

ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、総合医療センター推薦枠の拡充及び採用試験時期の前倒しを実施 (総合C)

イ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み、各種手当や調整額を拡充

ウ 看護師不足に対応するため、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が共同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

### ② 就労環境に関する事項

ア 職員満足度アンケート調査の結果をもとに、業務用 PC の増設等、就労環境の改善を促進

イ 長時間労働の是正に向けた強化及び雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保

## 2 令和2年度（第3期中期計画2年目）

### （1）業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 県立総合医療センター

- （ア）県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- （イ）県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、感染症医療など、他の医療機関では対応が困難な医療や不採算医療などに対し、積極的に対応
- （ウ）地域がん診療連携拠点病院として、がん患者の病態・病状に応じた適切ながん治療を提供できるようリニアックを整備
- （エ）助産院において、産後の母子に対し、地域ニーズに合わせた産後ケアを実施
- （オ）へき地医療機関の若手医師に対し、5Gを活用して遠隔指導を行う、全国で初めての実証試験を実施
- （カ）感染症指定医療機関として、他院では受け入れが困難な重症患者等を含む多数の新型コロナウイルス感染症患者を受入
- （キ）新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療を提供するため、人工心肺装置（エクモ）などの高度医療機器の整備や感染症センターを改修
- （ク）県が実効性の高い新型コロナウイルス感染症対策が実施できるよう県新型コロナウイルス感染症対策室へ医師を派遣
- （ケ）県内各地で発生した新型コロナウイルスのクラスター対応のため医師やDMATを派遣
- （コ）消化器病センターにおいて、内科、外科が連携して高齢者や食道癌などの大手術の患者に対し、術前から、がんリハビリテーションを積極的に実施
- （サ）心血管カテーテル治療室において、心臓疾患に対する高度専門医療を提供
- （シ）人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット2台による手術体制を整備。人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップ
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数 702 件（計画 400 件）
- （ス）院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- （セ）その他
  - てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

##### イ 県立こころの医療センター

- （ア）精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供
- （イ）認知症疾患医療センターにおいて保健医療機関・介護機関と連携を図り、相談・支援体制を充実
- （ウ）他院では受け入れが困難な精神症状の重い新型コロナウイルス感染症患者の受入や精神科病院で発生した新型コロナウイルス感染症のクラスター対応のため、看護師を派遣
- （エ）災害訓練等を通じて対応力を高め、災害拠点精神科病院に指定

#### ウ 地域医療への支援

- (ア) 患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）
  - ・紹介率 78.8%（50%以上）、逆紹介率 103.1%（70%以上）
  - ※括弧内は地域医療支援病院の承認要件
- (イ) 「県央デルタネット」の患者情報開示施設として、重複検査や重複投薬などが防止できるよう、必要な情報を開示

#### エ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットを活用して効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の日程の見直し及び随時実施に加え、WEB面接の活用
- (イ) 看護師不足に対応するため、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が共同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実
- (ウ) 新人看護師の離職防止のため、新たに専任職員を配置

#### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 転倒・転落事故発生率は両病院共、非常に低い水準を維持
- (イ) 患者の急激な病態悪化を予防する院内迅速対応システム（RRS）を整備
- (ウ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進
- (エ) 手術室の臨床工学技士配置人数を増員し、安全管理の強化と看護師からのタスクシフトを推進
- (オ) 新型コロナウイルスの院内感染防止のため、発熱外来の設置、面会の禁止、来院者の検温・問診等を実施
- (カ) 院内感染対策委員会において新型コロナウイルスの診療継続計画を改訂
- (キ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施（総合C）
- (ク) 病棟再編による各センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）
  - 長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施（こころC）
- (ケ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施
  - ・総合医療センター患者満足度 98.4%（計画 95.0%）
  - ・こころの医療センター患者満足度 95.9%（計画 95.0%）
- (コ) 病院広報誌の定期発行、テレビ「やまぐち医療最前線」などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

#### カ 施設設備の整備

- ・新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療に必要な医療機器、院内感染防止に必要な検査機器、がん患者の治療に必要なリニアックを整備（総合C）
- ・電子カルテの更新、院内感染防止に必要な検査機器の整備（こころC）

### ② 医療に関する調査及び研究

- 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）

### ③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の受入を実施

(初期臨床研修医 34 人、後期臨床研修医 15 人) (総合C)

## (2) 業務運営の改善等

### ① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施

### ② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化 (総合C)

イ 組織・人員配置の弾力的運用

リハビリテーションの充実及び診療報酬の増収のため理学療法士3名等増員(総合C)

ウ 2病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた3病院による調達を行うことで、効率的な業務運営を実施 (値引率 R1:15.4% → R2:16.5%)

### ③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

効率的なベッドコントロールにより、コロナ関連病床以外の一般病床は例年以上の病床利用率を達成 (総合C)

外部委託により平成28年度から約17,800千円の未収金を回収 (総合C)

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率 30.5% (計画29%以下) (総合C)

・材料費対医業収益比率 5.8% (計画6%以下) (こころC)

## (3) その他重要事項

### ① 人事に関する事項

ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、総合医療センター推薦枠の拡充及び採用試験時期の前倒し及びWEB面接の採用等適切な採用試験の実施 (総合C)

イ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み、各種手当の拡充及びコロナ一時金の創設

### ② 就労環境に関する事項

ア 職員満足度アンケート調査の結果をもとに、職員駐車場の増設等、就労環境の改善を促進

イ 新型コロナウイルス感染症対策として、特別休暇の創設

## 令和3年度事業年度評価（判断の目安）

### 〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

### 〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
a 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
b 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
d 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

### 〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
A 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
D 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

### 第3期中期目標期間見込み評価（判断の目安）

#### 〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 中期計画を十二分に達成の見込み	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 中期計画を十分達成の見込み	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 中期計画を概ね達成の見込み <b>【標準】</b>	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 中期計画はやや未達成の見込み	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 中期計画は未達成の見込み	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

#### 〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期目標を十二分に達成の見込み	4.3以上
a 中期目標を十分達成の見込み	3.5 ～ 4.2
b 中期目標を概ね順調の見込み <b>【標準】</b>	2.7 ～ 3.4
c 中期目標はやや未達成の見込み	1.9 ～ 2.6
d 中期目標は未達成の見込み	1.8以下

#### 〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期目標を十二分に達成の見込み	4.3以上
A 中期目標を十分達成の見込み	3.5 ～ 4.2
B 中期目標を概ね達成の見込み <b>【標準】</b>	2.7 ～ 3.4
C 中期目標はやや未達成の見込み	1.9 ～ 2.6
D 中期目標は未達成の見込み	1.8以下